富三地区 だより

今号のトピックス

○救命救急について

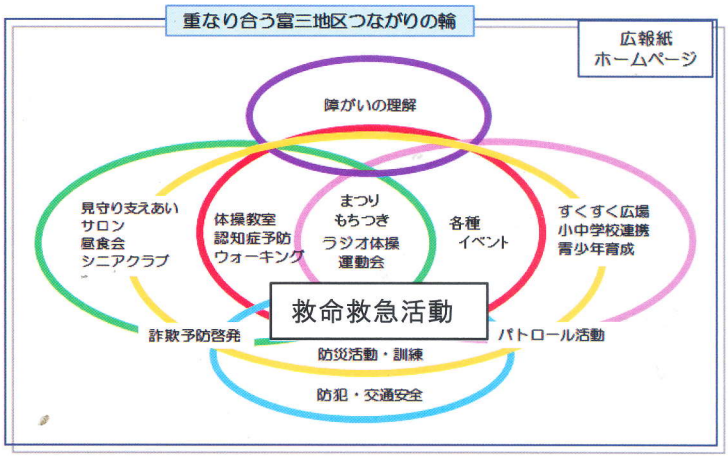
第13号

2018 年 9月
（平成30年）

編集:発行　富岡第三地区（連合町内会 ／社会福祉協議会／民生児童委員協議会）
（富岡西部町内会・富岡北部町内会・富岡桜ヶ丘町内会・ひかりが丘町内会・西富岡町内会）

富三地区計画から

富三地区では、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる「まち」をつくります

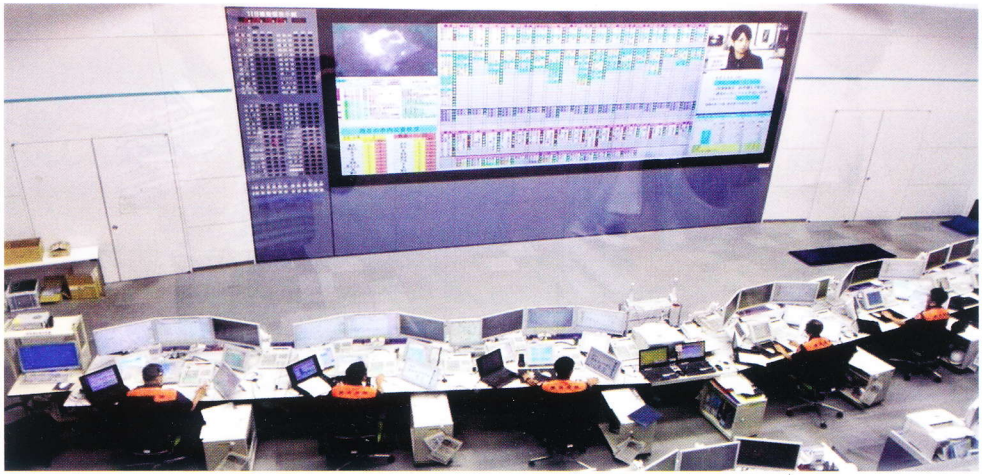


キャッチフレーズ
誰もが安心して暮らせる「まち」にしよう

深夜・明け方・日中を問わず、救急車の音が聞こえてくると、「大丈夫かしら？」と心配になります。あなたは119番通報をしたことがありますか？その電話はどこにつながって、どのように指令が出されているかご存じでしたか？救命救急特集を作成するにあたり保土ヶ谷区星川にある「横浜市消防司令センター」の見学をして、横浜市内の現状を勉強してきました。

緊急時、私たちが１１９番通報（消防・救急等）をすると、ほぼ全ての横浜市内からの通報は近隣の消防署ではなく「横浜市消防司令センター」につながります。センターにかかって来る電話は年間２７万件、一日約７００～７５０件、そのうち約８割が救急要請です。横浜市では現在７３台の救急車を保有し、金沢区内には４台が配備されています。市内人口約３７３万人に対し、明らかに不足している救急車７３台にもかかわらず、救急要請は右肩上がりの現状があります。

今号の特集では、救命救急 に関して、私たちにとって役立つ情報を取り上げます



横浜市
消防司令センター

今年の猛暑による熱中症発症件数は大変多く、救急要請もこれまでになく多い年となりました。緊急に救急車を必要としている方が、電話をかける際の注意点など「１１９番通報おぼえがき」について、救急要請の場合としてまとめます。

◎携帯でも固定電話でも「119」を押します

質問①注意点

◎電話は保土ヶ谷に通じています。携帯の場合は他市に通じる場合もありますので、住所は横浜市か区・町・地番を、共同住宅の場合は部屋番号までと名前を伝えます。

◎ひとり暮らしの方など、可能であれば家の固定電話から通報しましょう。途中で意識が薄らいでも、電話番号から現場を特定して貰うことが出来ます。

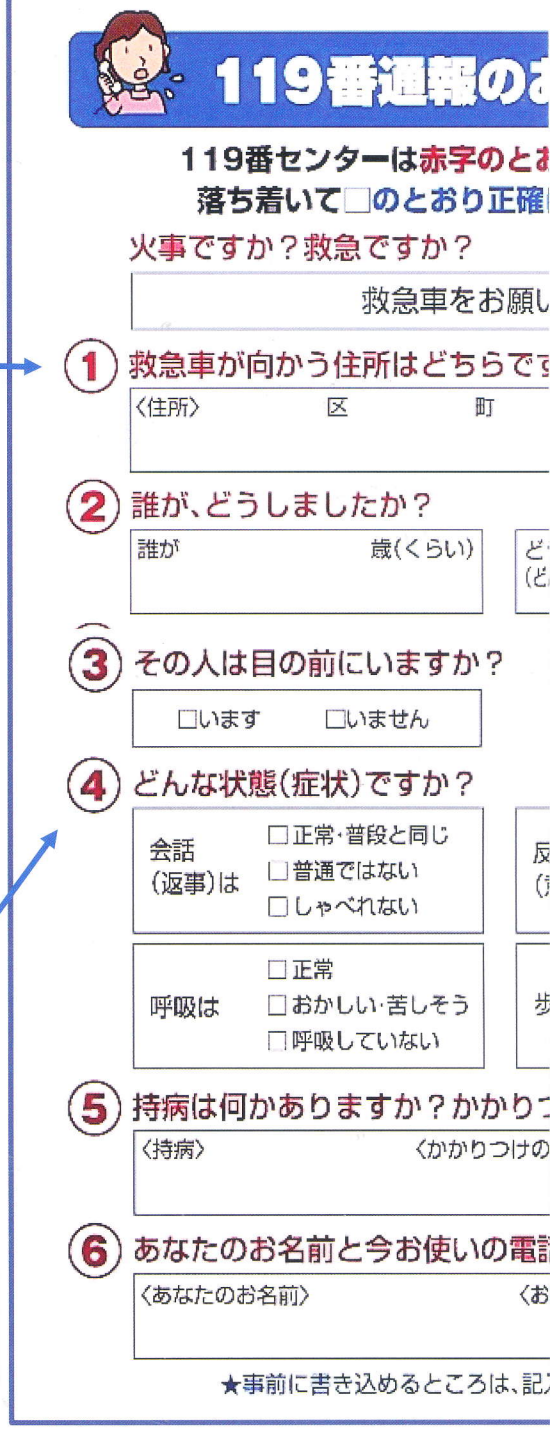
◎屋外で住所がわからない場合、交差点名・バス停・店舗名・電柱や道路標識の表示番号・自動販売機（２００５年以降設置）など近くの目標物をさがして伝えましょう。

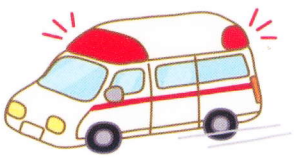
質問④注意点

◎現在の状態について詳しく聞かれます。その間に出動可能な救急車を手配しています。金沢区内で可能とは限りませんので、到着までに約９分間（全国平均）かかります。

◎センター内には通報を受ける隊員のほか、救命指導医としてドクター１名が常駐し、必要に応じ、電話で重症患者の処置指導にあたります。

◎救急車の到着までは大変長く感じられることでしょう。ひとりで頑張らず、周りの人に協力をお願いして、また、屋内でひとりしかいない場合も、落ち着いてセンターの指導に従いましょう。



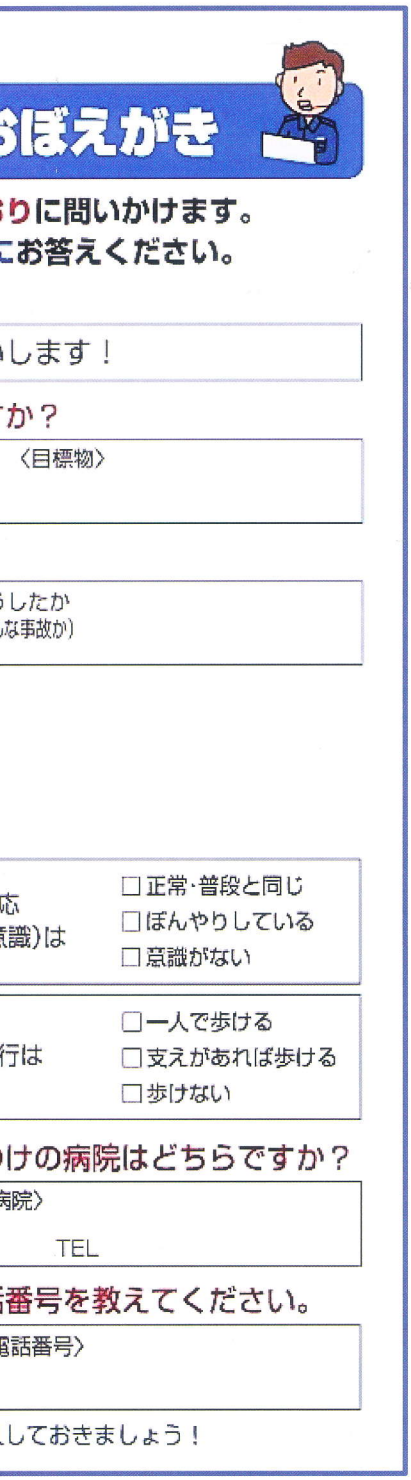


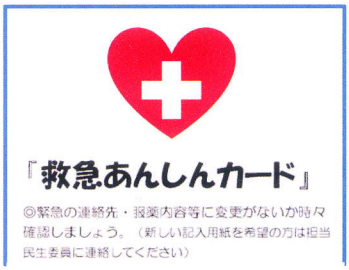
横浜市救急相談センター「＃7119」の場合

電話が通じると音声案内が流れます
【医療機関案内】は①番
【救急電話相談】は②番を選択
でも、音声案内が苦手、判断の自信がない方は、始めから **「119番」** にかけてください

日頃から地域で気を付けたいこ

①本当に救急車が必要か？安易な要
②救急車の通行を妨げるような路上
特に駐車した場合、車の右側の道路
がなくなる場所では駐車してはいけ



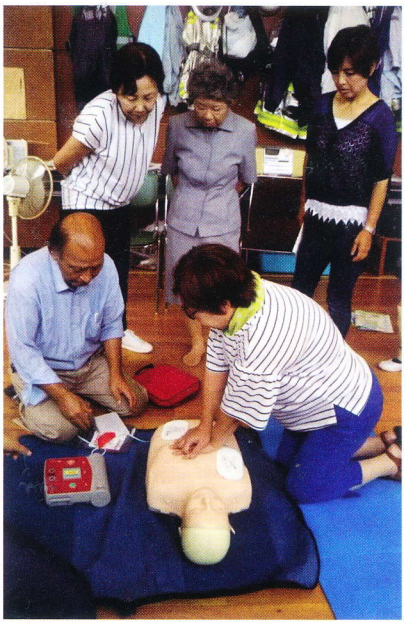


と
請をしていませんか?
駐車をしていませんか?
上に3.5m以上の余地
ません。(道路交通法)

富岡第三地区民生委員児童委員研修

心肺蘇生法とＡＥＤによる救命救急講座　平成30年8月20日

民生委員は日頃から高齢の皆さまと接する機会が多く、突然の出来事に少しでも対応できるようにと、富岡消防出張所にお願いして、心肺蘇生法とＡＥＤを組み合わせた「救命救急講座」を受講しました。心肺停止の人を発見したことを想定し、救命処置の手順にそって、胸骨圧迫とＡＥＤ（自動体外式除細動器）による電気ショックを繰り返す、という講習でしたが、大変体力を必要とすることを痛感しました。そして田村所長のお話しを伺いながら、救命処置の重要性についての認識を深め、真剣な講習会となりました。



富岡桜ヶ丘町内会自主防災訓練

平成30年9月9日第二公園にて、自主防災訓練を開催しました。地震発生、安否確認訓練、救命救急AED訓練などを行いました。

講習体験の重要性

ＡＥＤは電源ボタンを押すと、全て指示をしてくれます。電気ショックの必要がない場合は胸骨圧迫が指示されます。電気ショックボタンを押すときは、冷静に注意に従います。初めての方でも出来るように作られていますが、機会があれば「講習」を受けることをおすすめします。

AEDも消火器も、そのほか何でも、一度の体験がいざという時、あなたの自信につながります。

❤「救急あんしんカード」の配布について

富岡第三地区の民児協では、緊急時の対応が時間をかけずにできるようにと考え「救急あんしんカード」自宅用と外出時携帯用を作成し、ひとり暮らしの方やご希望する皆さまにお届けしています。この件に関しては、地域の民生委員にお問い合わせください。

救急車が来るまでに用意しておくもの

▼救急車を呼んだら、こんな物を用意しておくと便利です。

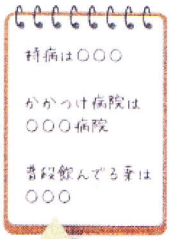
- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬（おくすり手帳）

▼ 乳幼児の場合はプラス

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル

▼救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

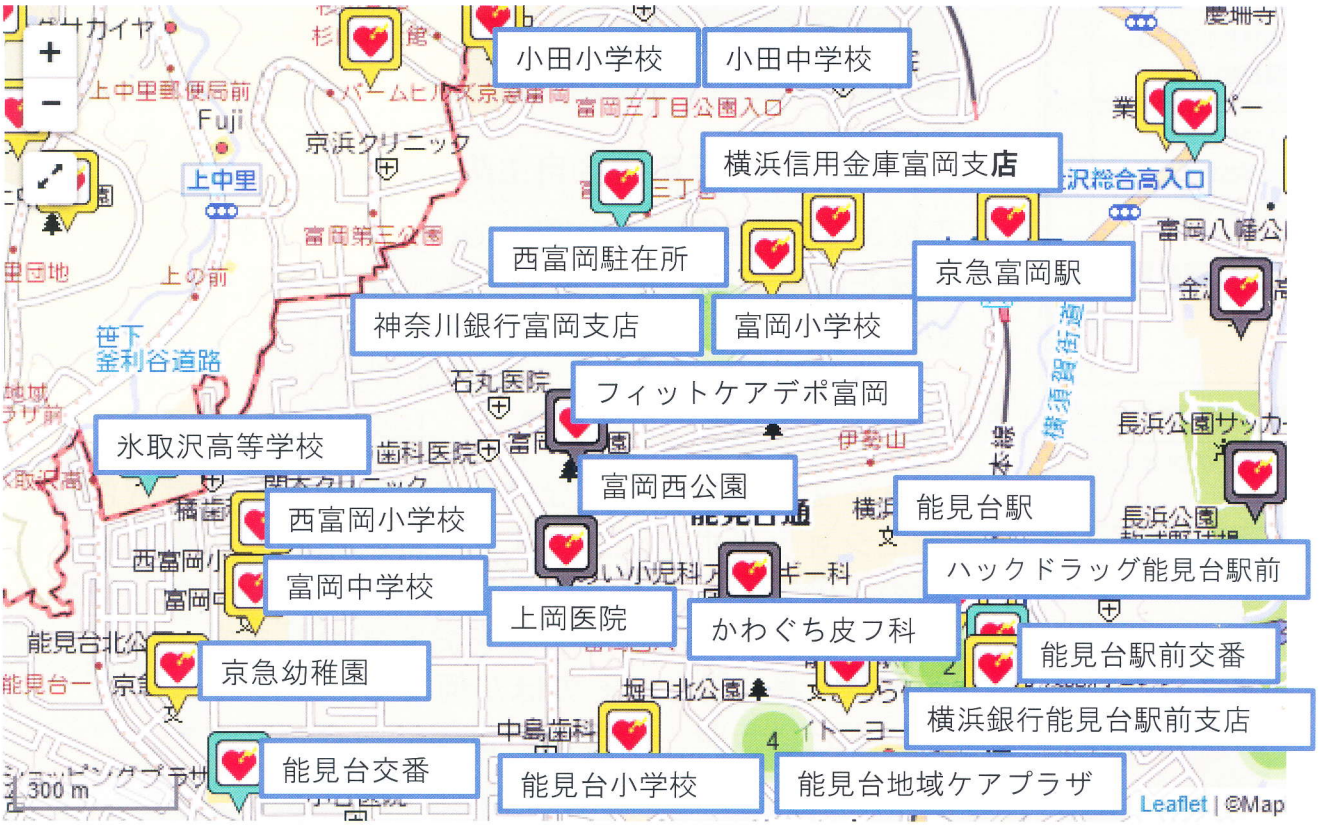
- 事故や具合が悪くなった状況や救急隊が到着するまでの変化
- 行った応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報（持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示など）



持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておくと便利です。

富岡第三地区近隣のAED設置場所

日本救急医療財団 HP全国AEDマップに設置登録情報を公開することに同意を得たもの



日本救急医療財団 HP全国AEDマップに記載されていない設置場所　公開許諾済

- 富岡西部町内会館
- 富岡地域ケアプラザ
- イトーヨーカドー能見台
- 京急ストア能見台

他に、近くのクリニック、医院、コンビニ等に設置の可能性あり

編集メンバー：　佐藤 祥生　大谷 郁二　浅野 秀子　乗折 勝利　佐藤 克彦　杉浦 千鶴